

令和4年度 青果物販売情勢について

令和4年8月12日（金）現在

【 果 樹 】

< モ モ >

あかつきは終盤となり、まどかについてもピークを越えた状況になっている。

モモ全体量は減少してきているが、各市場、仲卸、在庫を抱えながらの厳しい販売状況となっている。

販売単価を下げているが旧盆明けは、在庫をなくし、相場を上げる見通し。

あかつき 特秀 18 玉 3,000～2,500 円 青秀（秀） 2,700～2,500 円

まどか 特秀 15 玉 3,300～2,800 円 青秀（秀） 3,000～2,800 円

【 野 菜 】

< きゅうり >

気温の低下と曇天の影響から東北各県産の入荷が大幅に減少したことから、盆前の売り込みに対して不足感が強く相場は反発した。

盆直前の今週末までは、末端からの注文が見込まれるため荷動きは良い。

東北産は盆中に再度ピークとなる見込みから、盆中から盆明けについては、荷動きが重く相場を弱める展開の見通し。

@A 1,800 ～ 1,600 円

< ミニトマト >

北海道、青森県産が曇雨天の影響で色回りの停滞等で増量が鈍くなってしまったため、品薄感が強まり相場を強めた。

各産地入荷量は落ち着いてきているが、量販店からお盆明け後の注文もあり、盆期間後も一定の引き合いが見られるため、相場底上げとなる展開の見通し。

@AM 170 円 ～ 150 円